

アルバイトの活用を」などの意見が寄せられた。現在検討しているホームページの内容は、学会活動の紹介、定期刊行物の内容紹介、お知らせ、入会案内等。

### 3. 会員の新規加入等について

29名の通常会員と2機関の団体会員としての入会を承認。通常会員11名、団体会員1の退会を報告。

### 4. 電子アクセスに関わる CCC との権利委託契約について

標記について学協会著作権協議会を仲立ちにした契約の進捗状況について庶務担当理事から報告。気象学会と著作権協議会の間で「電子アクセス権」についての契約を結び、それに基づいて著作権協議会が CCC (Copyright Clearance Center Inc.) との間で契約を交わすこととなる。この件について常任理事会として討議。契約を結ぶことに特に問題はないと思われるが、まだ著作権協議会経由で契約した学会がないことから、もう少し他の学会との間で実績ができてからでも遅くないとの認識に達し、当面の

間、契約締結を見送ることとした。

### 5. 1996年度藤原賞について

同賞候補者推薦委員会に5名の推薦があり、1月11日に委員会を開催して審議した結果、このうち2名を候補者として理事長に報告することになった。推薦理由書について最終的な修文を行ったうえ、全理事による投票にかけることとする。

### 6. 第29期役員選挙について

庶務担当理事から立候補届け出状況等について報告。1月31日に立候補届け出締め切り後、2月1日に選挙管理委員会が開かれる予定。

### 7. 第28期第2回評議員会について

本常任理事会に引き続いて開催される第2回評議員会の議事予定、理事の任務分担について確認。

### 8. 1996年度事業計画案・予算案について

現在までに把握している事業予定にもとづく素案について討議。今後も引き続き常任理事会で詰めていくこととする。

## 第19回極域気水圏シンポジウムのお知らせ

南極域では、南極観測における主要な研究計画として、「氷床ドーム深層掘削観測計画」が進行中で、第37次観測隊が掘削を継続しております。また昭和基地では、「南極大気化学観測計画」が実施されております。同時に北極域ではスバルバル、グリーンランド等で地球科学に関するさまざまな観測が実施されております。一方国内では、これまでに得られた氷床コアの分析とデータ解析、衛星データの解析等を始めとして、南極、北極域の資料を用いた多方面にわたる研究が続けられております。

上記のような実情をかんがみ、下記の日程で南北両極域を中心とした気象学・雪氷学・海洋学に関連する研究成果と今後の研究展望等に関するシンポジウムを開催いたします。ふるって御参加ください。

なお今年は「南極観測」「北極観測」など国内外の共

同研究プロジェクトの概要などについての特別セッションを設ける予定です。

### 記

#### 日時

平成8年7月10日(水)～11日(木)

#### 会場

国立極地研究所・講堂

#### 発表申込締切

5月7日(火)必着

#### 連絡先

〒173 東京都板橋区加賀1-9-10 国立極地研究所  
気水圏シンポジウム係「森本・島田」

Tel : 03-3962-5582

Fax : 03-3962-5719

E-mail : glacier@nipr.ac.jp